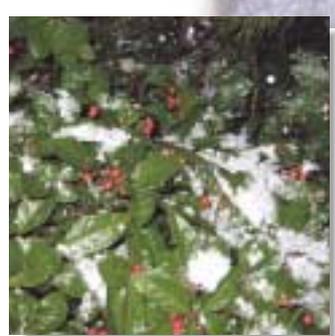


2005
新春号



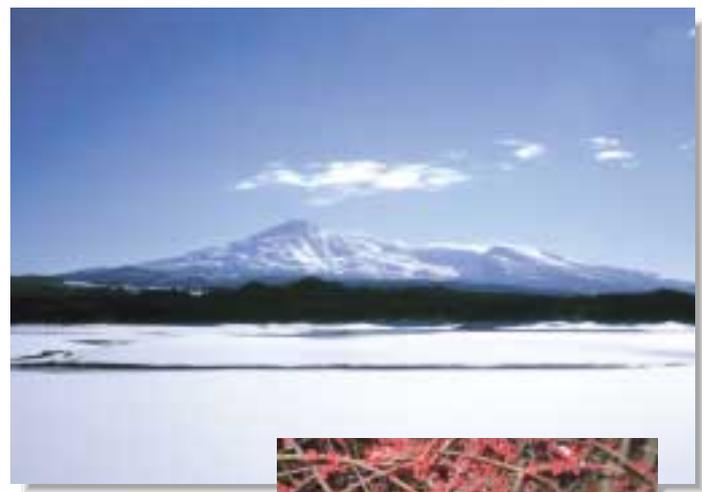
ヤブコウジ



森吉山ブナ林 (森吉町)



八幡平 (鹿角市) 樹氷



鳥海山 (大谷地より)



ベニシタン

目次

首長公用車に関するアンケート結果	2
ワールドソーラーカーラリー地球温暖化防止活動環境大臣賞	3
会員活動紹介	4
トピックス	5 ~ 7
お知らせ	8



首長公用車に関するアンケート結果

地球温暖化防止活動の一環として、平成16年11月22日に秋田県内自治体の首長公用車の実態に関するアンケートを実施しました。回答は12月15日締切でとお願いしたところ、12月20日現在、回答数は68自治体中49自治体、72%の回答率となっております。

<集計結果>

Q1 首長公用車の所有の有無と所有車両について

* 所有の有無

所有している自治体	46
所有していない自治体	3
計	49

* 年式について

平成4年から平成15年

* 所有車両について すべて国産大型乗用車

排気量	
2,500cc未満	1
2,500～3,000cc未満	8
3,000～4,000cc未満	18
4,000～5,000cc未満	18
5,000cc以上	1
計	46

大曲市所有車は平成12年基準排出ガス75%低減国土交通大臣認定車です。

Q2 使用頻度について

毎日	35
週3日以上	11
計	46

Q3 買い換えについて

予定あり	0
検討中	3
予定なし	43
計	46

買い換え予定なしの理由で主なもの

- ・市町村合併を控えているので
- ・減価償却年数に満たない
- ・使用に耐える
- ・予算がない
- ・リース車両である...など

Q4 自治体独自の地球温暖化防止活動の取り組み各自治体から記入いただいたものを掲載しています。

秋田市	・新エネルギービジョンに基づく新エネルギー導入実施 ・環境部でISO14001取得 ・エコあきた行動計画実施 ・環境貯金箱作戦、e-市民認定システム等市民への啓発活動	金浦町	・新エネルギー、省エネルギー計画実施中 ・勢至公園、観音湯の噴水をソーラー発電可動 ・風力発電計画申請中 ・ハイブリッドカー（トヨタエスティマ）導入
大館市	・ISO14001取得 ・エコプラン21（地球温暖化防止計画）実施中	西仙北町	・小学校児童作成の省エネかるた大会を実施、老人クラブ等でも拡大版を使用したかるた大会を開催 ・各家庭に省エネカレンダーを配布 ・役場庁舎内で照明個別スイッチ利用の省エネ活動
能代市	・新エネルギービジョン策定、実施中	協和町	・環境基本計画を策定
小坂町	・新エネルギービジョン策定、実施中 ・バイオマスタウン構想策定中	西木村	・公用車更新時はハイブリッド車を購入するようにしている
鷹巣町	・新エネルギービジョン策定	美里町	・旧六郷町でISO14001取得
比内町	・地球温暖化対策のため、比内町役場率先実行計画実施中	平鹿町	・あきた環境優良事業所として認定、実施中
八竜町	・地球温暖化対策実行計画実施中	山内村	・新エネルギー計画策定、試験実施、施設に導入中
藤里町	・出張用公用車のうち1台をハイブリッド車（リース）としている	雄勝町	・自動車買い替えの際は低排出ガス車三ツ星以上を購入基準とする
大潟村	・新エネルギービジョンに基づく新エネルギーの導入検討中 ・21世紀に向けた新エネルギーの探求：ワールドソーラーカーラリー開催など	東成瀬村	・新エネルギービジョン策定

以上がアンケート集計結果です。

幾つかの自治体で公用車に対する意識改革が感じられますが、全体的に首長公用車は大型自動車という固定観念があるようです。

合併を控えている市町村が多いことから、体制が整った後、県民の規範となるべき首長用に限らず、公用車から率先して低公害化を図ることを提言していきたいと思えます。

ワールドソーラーカーラリー 地球温暖化防止活動環境大臣賞!!

秋田県大潟村で活動している特定非営利活動法人クリーン・エナジー・アライアンス（代表 谷 惇）が地球温暖化防止活動環境大臣賞（環境教育部門）を受賞しました。12年間継続しているワールドソーラーカーラリーをはじめ、エコノムーブ（手作り電気自動車省エネレース）、そして燃料電池車レースを開催して、太陽光発電や燃料電池等の普及啓発の業績が認められたものです。

平成16年11月27日、紅葉真っ盛りで美しい古都の景色の中、国立京都国際会館で地球温暖化防止活動環境大臣表彰式が行われました。7年前に京都議定書が採択された会場で、4部門合わせて38の企業、団体、個人が大臣表彰を受けました。

子供たちの未来のために地球環境を守っていこうと始めた活動ですが、夏のソーラーカーラリー、春のエコノムーブのほか、燃料電池部門を新設し技術者の育成にも貢献しています。

大潟村から世界に発信している地球環境保全の活動が、これからますます発展することを期待します。



大潟村のワールドソーラーカーラリー

特定非営利活動法人

クリーン・エナジー・アライアンス（代表 谷 惇）

〒010-0442 秋田県南秋田郡大潟村字東2-5-16

<http://www007.upp.so-net.ne.jp/tantony/>

（写し）

<p>地球温暖化防止活動環境大臣賞 環境教育部門</p> <p>表彰状</p> <p>特定非営利活動法人 クリーンエナジーアライ アンス</p> <p>代表 谷 惇 殿</p> <p>貴法人はワールド・ソーラーカー・ラリー等のレース競技の開催により太陽光発電や燃料電池等の有用性を楽しみながら学ぶ場を提供するなど環境教育に積極的に取り組まれ地球温暖化防止対策の推進における功績は誠に顕著なものがありませんよってこれを表彰します</p> <p>平成十六年十一月二十七日</p> <p>環境大臣 小池 百合子</p>



表彰状を受け取る谷さん



小池環境大臣と谷さん

クイズ 1

なぜ「ペットボトル」という名前なの？

ペットみたいに可愛いから

原料の名前からとった

なんとなく気分でつけた

会員活動紹介

秋田リコー(株)の「ごみゼロ」オフィス

秋田リコー(株)では本社ビルと秋田支店において、2004年10月に「ごみゼロ」オフィス達成宣言をしました。「ごみゼロ」とは排出ごみを分別し、すべてをリサイクル、あるいはエネルギー変換し、埋め立てごみはゼロにするということです。

既にISO14001を取得しており、さらに、事業そのものと環境保全を一体として考える環境経営の取り組みの一つとして「ごみゼロ」オフィスにチャレンジし、管理項目と達成目標を決めて改善実施しています。

まずは排出するごみの把握をし、その分別方法等、廃棄物収集の業者と話し合うことから始めました。最初は、PP結束バンド等、一部、リサイクル不可能廃棄物があり、「ごみゼロ」を目指すことが難しい状況でしたが、廃棄物処理業者の設備投資のおかげで解決し、2004年の6月から「ごみゼロ」オフィスを運用、その結果に基づいて10月に達成宣言をしたものです。処理されるごみの行方を追跡調査し、きちんとリサイクルされているという最終チェックを行って、ごみ処理フロー図を作成し社員にルール説明を行いました。

オフィスから排出されるごみを紙ごみ・ごみ・産業廃棄物と大きく3つに分別、最終的に23に分別し排出量を計量し記録を取っています。特にOA機器や用紙などの消耗品等を扱う仕事柄、紙ごみの排出量は多く、まずは8種類に分別、裏紙利用のためのリサポストとリサイクル専用ボックスに分けています。これにより「ごみ」の量が格段に減ったということです。

また、通常のシュレッダー裁断では繊維が細くなり、リサイクル不能になることから、ここではセキュリティー上可能なものをうどん状カットという幅広裁断シュレッダーを利用してリサイクルにまわしています。5ミリの幅があればリサイクル可能ということです。ちなみに、ビル内に設置してある自動販売機の機内部照明の電球は取り外されています。確かに屋内で明るさを確保できるところであれば必要のないものです。

この秋田リコー(株)の取り組みはリコーグループ内で評価され「環境経営進化度優秀賞」を受賞しています。社内見学(ライブオフィス)も受け付けていますので、ぜひお尋ねください。きっと「目からうろこ」が見つかるはずです。

この取り組みの運用には、女性社員による環境パトロールが欠かせません。きめ細かく、ソフトにチェックが入ることでルールが守られているという担当者のお話でした。

秋田リコー(株) 〒010-0061 秋田市卸町4-9-1
Tel : 018-823-0111 Fax : 018-863-7098
URL <http://www.akita.ricoh.co.jp/>
E-mail www-info@akita.ricoh.co.jp

秋田リコー再資源化 分別種類

分別種類	分別方法	処理方法	備考
紙類	紙類専用ボックス	資源物	
プラスチック類	プラスチック専用ボックス	資源物	
ガラス類	ガラス専用ボックス	資源物	
金属類	金属専用ボックス	資源物	
その他	その他専用ボックス	資源物	
燃焼物	燃焼物専用ボックス	エネルギー	
産業廃棄物	産業廃棄物専用ボックス	産業廃棄物	

秋田リコー再資源化 分別種類



西由利原高原植樹ボランティア



白神植樹ボランティア

会員活動紹介

大曲生活学校の活動

大曲生活学校は昭和45年に開設以来、毎月第一火曜日を例会に設定し、地域に根ざしたさまざまな活動をしています。

<主な活動内容>

- ・全国花火競技大会会場の「ごみ持ち帰り運動」ポスター作戦
- ・デポジット対話集会及びミニデポジット実施
- ・高齢者と交通安全について大曲警察署交通課と対話集会(街の中心部を歩き、実態調査を行う)
- ・古紙回収により再生されたトイレットペーパー、コピー用紙等の利用状況について市内75団体を調査し、その利用促進の啓蒙を図った。
- ・廃油石けんづくり(ペットボトル利用)を実施
- ・県環境フォーラムin 大曲会場においてパネル展示、ペットボトルリサイクル製品等の展示並びに来場者への説明
- ・書き損じハガキ、使用済み切手、使用済みテレホンカード等資源回収海外協力ボックスを市働く婦人の家窓口に設置し、市民への協力をアピール
- ・食の安全性を考えて、地場産品を使用した料理づくりを大曲市食生活改善推進員協力のもと実施
- ・生ゴミ堆肥化モニターとして市循環型農業推進会議に参加
- ・容器包装減量化キャンペーンとして年2回街頭PR実施
- ・余裕教室の利活用、夕刊翌朝配達、マイバッグ持参運動、少子化対策等の実態調査の実施



大曲生活学校の皆さん

これからも地域にあった課題を見つけ、無理をせず、あせらず、メンバーをできるだけふやしながら、継続可能な活動を続けていきたいと思っています。
(大曲生活学校会長 泉谷 明子)

連絡先 〒014-0046 大曲市田町4-15
泉谷 明子

tel : 0187-62-5100
fax : 0187-62-1713 (働く婦人の家)



ペットボトルリサイクル製品の展示コーナー



ペットボトル利用の廃油石けんづくり



地場産品を利用した料理づくり

八郎湖を考えよう

平成16年12月18日(土)「第21回八郎湖の水を考える集い」と「環八郎湖・流域の未来フォーラムPart 4」が、八郎湖水質対策連絡協議会と秋田県の主催により井川町農村環境改善センターで開催されました。これは、八郎湖流域の住民、団体、行政等が集い、水生生物調査の成果や活動事例紹介を通じながら八郎湖の水環境を考えていくことを目的に開催されています。

「第21回八郎湖の水を考える集い」では、ポスター・標語コンクール優秀賞受賞者表彰に続き、井川町立井川小学校・昭和町立大久保小学校児童による地域河川の水生生物調査研究発表、秋田県湖東部水生生物研究会代表の鈴木利雄さんによる講話「環八郎湖流域の人びとへのメッセージ～水生生物研究会の歩みを振り返りながら～」が行われました。

井川小学校児童は井川の、大久保小学校児童は馬踏川の水生生物調査結果についての研究発表を行いました。きれいな水にしか棲まない、あるいは汚い水に棲むという指標生物を観察しての発表で、上流ではきれいな水であったものが下流に進むにしたがって汚れた水に変化していくので残念だったという感想発表を行いました。実際に民家の多い下流地点では川に入るのをためらうほど、目で見える汚れ具合だということです。それが、子供たちのせいではなく、自分たち大人のせいなのだと感じました。

また、20年間継続して児童たちを指導し、一緒に活動を続けてきた秋田県湖東部水生生物研究会代表の鈴木利雄さんは、環境教育の必要性、子供たちの持つエネルギーなどについて語りました。

コンクールの優秀作は次のとおり。

▷ポスター 高橋未来(天王中) 石川明諭(馬場目小)

▷標語 「残そうよ キラキラ輝く 八郎湖」 猿田 真己(内川小)

「八郎湖 よごすも守るも あなた次第」 佐々木雪裕(大瀧小)

続いての「環八郎湖・流域の未来フォーラムPart 4」では、滋賀県の菜の花エコプロジェクトネットワーク会長の藤井絢子さんによる講話「菜の花エコ革命～琵琶湖からのメッセージ～」が行われ、藤井さんは琵琶湖の水質改善対策として始まった廃油石けんづくり運動が紆余曲折を経て、休耕田で菜種を栽培し食用油として利用した後、車を走らせる再生燃料を、という循環型であり、地域密着型のプロジェクトとして発展したこと、そして地域が元気になったという報告をされました。

次に、「循環型社会への戦略～もっと地域とともに～」と題して、谷口吉光・県立大学生物資源科学部助教をコーディネーターに鈴木代表、藤井会長、山田実・菜の花プロジェクトネットワーク事務局長による鼎談が行われました。

また、11月23日(火)勤労感謝の日、秋田市のユースパルで「新しい秋田を考えるフリーの会」主催による「八郎湖の水質を改善しよう」をテーマとするフォーラムが開催されました。

滋賀県琵琶湖環境部水政課の杉江弘行氏の基調講演「琵琶湖における水質改善の取り組み」で琵琶湖の事例を学んだ後、パネリストの方々が次のような意見を出されました。まず、当法人理事長の山本久博が、浚渫、法整備など研究調査は、行政、各団体等でかなり以前から行われているのに、未だに行動に移されていない。これからは、周辺の住民だけでなく全県レベルで意識改革を行う必要がある。まず、シンボルとして全首長参加による「八郎湖泳ぐ会」を設立し、担当者のやる気を喚起するのはどうか。

次に石井洋佑さん(山本町長)が、山本町では、2,000町歩国営パイロット事業として、ジュンサイや稲作のために白神山地から毎秒2トン+2トン=4トンの水を導水管で確保している。農繁期を除いた半年以上は、ただ放流されているだけであり、この半年の間の水を八郎湖に注ぐことができれば、かなり短期間に水の入替えが可能。ダム本体は秋田県、所有は農水省、水使用権は秋田企業局であることから、行政側で水利権や法律の問題がクリアできれば水質改善の特効薬に成り得るかもしれないと話されました。

最後に、宍戸豊和さん(魁新聞社論説委員)は、釣りが趣味で何度か八郎湖で釣ったが、ボートの錨を上げた時にヘドロが付着して臭った。ヘドロを除去しなければ湖は再生しないのではないかと話をされました。

これに対して会場からは、地元のお年寄りの話として、八郎湖の汚濁で日光が通らなくなり、藻が育たず、結果、藻を好む白鳥が飛来しなくなった。昭和町のほうは袋状になっていて汚濁がいつそうひどくなっている。海水導入の可能性、あるいは、米代川から浅内沼を使って導水する、玉川ダムの水を雄物川から導水管で引いたらどうか等々、熱い意見交換が最後まで続きました。

最後に、コーディネーターの宮田正雄さんが、ヘドロの浚渫は干拓当初から30年毎に行う設計になっているはず。国の予算の都合で点検整備が遅れている。浚渫は、いずれ実施しなければならない課題であり、そのための用地も確保されている。白神山地からの水で八郎湖が蘇るのは非常に魅力的だし、法整備の問題は、やり方次第で何とかできるはず。問題は、みんなが本腰を上げる気になるかどうかということ。その観点からすれば、知事を筆頭に首長たちがみんなで「泳ぐ会」を設立するのは妙案であると総括されました。このフォーラムの内容を要約し、「新しい秋田を考えるフリーの会」が関係各機関に提案要望することになっているということです。

おりしも環境省発表で「濃度差から見た水質悪化の上位水域」で八郎湖は千葉県印旛沼、奈良県室生ダム湖と並び全国ワースト2ということです。COD平均値では全国ワースト11位ですが、悪化が加速しているという現状には違いありません。まだまだ緑豊かな自然環境に恵まれている秋田県ですが、八郎湖の水質改善は県民の望みです。多方面からのアプローチが解決につながるのではないかと思います。



鼎談



フリーの会



井川小学校



大久保小学校



受賞ポスター

秋田地域振興局のサイト <http://www.pref.akita.jp/akikenmi/akitatiiki/index.html>
 大久保小学校のサイト <http://www5.ocn.ne.jp/~okubo-es/>
 環境省報道発表のサイト <http://www.env.go.jp/press/press.php3?serial=5560>

能代山本環境交流フォーラム

平成16年11月9日（火）能代キャッスルホテル平安閣で能代山本環境交流フォーラムが開催されました。

「能代山本地域の豊かな環境づくりをすすめるために、住民活動はどうあるべきか」をテーマに、講演会とパネルディスカッションが行なわれました。講演は、NPO法人多摩川エコミュージアム代表理事 長島保さんから、多摩川の魅力を紹介するエコミュージアム事業の様ざまな活動が紹介されました。その活動の中で、子どもたちが遊ぶには「汚くて、アブナイ」とされる多摩川を、今ではこんなにきれいだと各小学校に説得に歩いた会員の方々の話が印象的でした。

パネルディスカッションではパネリストとして、ブナの実から苗木を育て成長した苗木を植樹している白神ネイチャー協会の工藤会長、「アダプト制度」で道路美化活動を実施



パネルディスカッション

するごみゼロ運動推進交流会議の浅田代表、手作りせっけん作り・EMボカシで身近な省エネルギー、リサイクルを推進する藤里ぶらすの会生活学校の細田会長がそれぞれの活動を報告されました。コーディネーターは、当法人理事長の山本久博が務めました。

会場には、数多くの構成団体の方々が参加し、熱気ある会となりました。長島さんからは「これまでの運動をいかに若い世代に伝えていくかが重要」とアドバイスをいただきました。



能代山本環境交流会議 進藤会長

大曲仙北地区環境保全組織連合会研修会

平成16年11月6日（土）午後1時から、南外村コミュニティセンターで大曲仙北地区環境保全組織連合会主催による研修会が開催されました。

まず初めに、同地区の生活改善功労者表彰が行われ、永年にわたって地域で生活環境の改善にご尽力された永井賢太郎氏（大曲地区環境衛生推進協議会監事）、粟津富四郎氏（藤木地区環境衛生推進協議会理事）、黒田寅夫氏（角間川地区環境衛生組合連合会運営委員）、打川幸之助氏（南外村環境衛生推進員）の方々が表彰を受けられました。

その後、当法人副理事長でもあります木川弘氏が「環境なんでも50年の話」と題して講演を行いました。

専門分野の虫の話にとどまらず、ご自身が主体的にかかわって30年余、続けてこられた「秋田市クリーンアップ作戦」の話、保健所勤務時の話など、ユーモアたっぷりの講演で会場は笑いあり、納得ありの講演会となりました。

中でも、第2次世界大戦後、ノミヤシラミ退治と称して人間に振りかけられたDDTという薬が、実はナチスの虐殺で使用された毒ガスの副産物であると伺って驚きました。

また、人間にとって気温の1℃の変化が、昆虫の場合は20倍に相当すると聞いて、これもびっくりでした。温暖化を実証する例であろうと「ヒトスジシマカ」という関東以南に棲息していたヤブカが能代市で見つかったことなどを伺い、身近なことだけに温暖化を実感しました。

考えさせられるお話を伺ったあと、ブラボー中谷さんの楽しいマジックショーで凝った肩をほぐして研修会は閉会になりました。



講師の木川弘氏

仁賀保町で「あきた環境優良事業所認定制度」 説明会が開催されました

平成16年12月9日（木）午後1時30分から仁賀保町フェライト子ども科学館で「あきた環境優良事業所認定制度」の説明会が開催されました。

来年2月の京都議定書発効を受け、CO₂削減が差し迫った課題となっています。当法人の「あきた環境優良事業所認定制度」の審査員として由利本荘地区で活動している工藤兼勝氏（支援センターサクセス）により、仁賀保町の事業者の皆様方へ、ISO14001のほか、中小事業者向け環境マネジメントシステムの詳しい説明が行われました。

今後の予定についてのお問い合わせは、事務局または、支援センター"サクセス"0184-35-3286（工藤）まで、Faxまたは電話でお願いします。



仁賀保町説明会

あきた環境優良事業所認定制度 ステップ1に新規申請!!

平成16年9月に第1回の「あきた環境優良事業所」認定をいたしました。2回目の認定審査会は平成17年2月に予定しています。

このたび、2つの事業所からステップ1に申請をいただきました。内容につきましては以下のとおりです。当法人ホームページでもご覧いただけます。

のしろエネルギーサービス株式会社

都市ガス・プロパンガス及び器具各種

〒016-0804 秋田県能代市万町11番21号

電話 0185-52-5030 FAX 0185-52-8116

URL:<http://www14.plala.or.jp/nes-hp/index.html>

E-mail:nesno1@lapis.plala.or.jp

取組目標

- 1 自動車の安全かつ適正な使用により燃費の向上に努めます。
秋田県の「アイドリング・ストップ宣言事業所」に登録する事により、従業員の意識向上及び燃料節約に努めます。
- 2 環境に配慮した製品を使用します。
グリーン購入・エコマーク及び秋田県リサイクル認定製品などの環境に配慮した製品の購入・使用に努めます。
- 3 日常における省エネルギーに努めます。
昼休み・休憩時及び帰宅時には、消灯するなど、節電に努めます。冷暖房の温度調整を提示して、意識を高めます。
- 4 都市ガスの普及に努めます。
化石エネルギーの中で最もクリーンな天然ガスを使用している都市ガスを普及することにより、環境保全を押し進めていきます。

事業概要

のしろエネルギーサービス(株)は、平成14年創立以来、能代市の都市ガス及びプロパンガスの供給及びサービスに努めております。

- (1) ガスの製造及び供給、販売
- (2) ガス機器及び住宅設備機器の販売並びに賃貸
- (3) ガスの配管工事
- (4) 石油類、液化石油ガスの販売
- (5) 冷暖房機器の販売、冷暖房設備工事、給排水設備工事の請負施工

東光バイオテック株式会社

製造業

〒017-0012 秋田県大館市釈迦内字稲荷山下19-1

電話 0186-48-6318 FAX 0186-48-6312

東光グループURL:<http://www.toko-akita.co.jp>

E-mail:bio@toko-akita.co.jp

取組目標

- 1 日常業務において省エネルギーに努めます。
下記のように節電に努めます。
・ 休憩時間や昼休みには消灯します。
・ 長時間使用しないパソコンの電源を切ります。
- 2 事務用品の使用量の低減、ごみの減量化に努めます。
ミスコピー紙の裏紙や使用済みの封筒を再利用します。
使い捨て製品の購入・使用を控えます。
- 3 社用車の適正な使用により、燃費向上に努めます。
アイドリングストップに努め、普段の走行においても急発進・急加速や空ぶかしを控えます。
- 4 環境に配慮した製品を使用します。
再生紙、エコマーク製品やリサイクル製品を優先的に購入・使用します。
- 5 環境保全活動を推進します。
事業所内の清掃、整理整頓に努めます。

事業概要

- ・ 資源リサイクルに関する研究開発およびコンサルタント業務
- ・ 資源リサイクルに関する施設の設計、施工および維持管理
- ・ 園芸用樹木、草木類および農産物の栽培に関する研究開発、並びに植物生育用資材の製造販売
- ・ 光触媒、オゾン技術を利用した浄化装置の研究開発、および製造、販売
- ・ 上記に付帯する業務全般

クイズ 2

ごみとして捨てられるペットボトルの割合は？

だんだん増えている あまり変わらない どんどん減っている

環境カウンセラーのつぶやき

環境カウンセラー
工藤 哲弥

「子どもといっしょに」

環境問題を考えるときに、いつも頭をよぎることがある。かつてドイツの環境首都といわれているフライブルグ市を訪れたときのことである。

ごみを出さないことが、ごみ処理対策の基本である。この当たり前のことがここでは徹底して実行されていた。わずか5年の間に市民一人当たりのごみ排出量が543kgから280kgにまで減少したという。やればできる！

ここでは、このような環境教育が学校を拠点として、家庭や地域へと広がって

いったことを具体的な事例で説明を受けた。

子どものときから環境に強い関心を持たせ、出来ることから実践させなければ...と考えていただけに、「わが意を得たり」と環境教育に一層意欲がわいた。

「子どもといっしょに」をモットーに身近な問題から環境を考えようと、こどもエコクラブの活動を中心に今年もまた動き回っている。

この子どもたちの成長を楽しみにしながら。



ニツ森ブナ林で子供たちといっしょに



「東北の土壤汚染問題を考えるin秋田2005」

～土壤汚染の現状と課題および東北地方における動向～

日本素材物性学会による研究会
研究開発型NPO法人 秋田土壤浄化コンソーシアム &
東北土壤汚染研究会によるジョイントシンポジウム

日時：平成17年1月28日（金） 午前の部9:30～12:00、午後の部13:00～17:15（懇親会～19:00）

会場：秋田ビューホテル（JR秋田駅近く）

主催：NPO法人 秋田土壤浄化コンソーシアム、東北土壤汚染研究会、日本素材物性学会

共催：秋田化学技術協会、循環型社会対応産業クラスター委員会

後援：NPO法人 環境あきた県民フォーラム

午前の部：日本素材物性学会研究会行事

午後の部：ジョイントシンポジウム 基調講演編 + パネルディスカッション編

注：秋田土壤浄化コンソーシアムは2005年1月にNPO法人に移行の予定

連絡先：〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1 秋田大学VBL 2F内 TEL&FAX: 018-889-3078

E-mail: akitadojo@hotmail.com <http://www.akita-u.ac.jp/honbu/04rpc/0413.html>

「ふるさと美化意見交換会」参加者募集中です



美化シンボルマーク
「クリンちゃん」

県では、美しいふるさとづくり運動の一環として「ふるさと美化意見交換会」を開催します。この会は、環境美化活動の活性化を図るため環境美化実践団体間の情報交換を行うとともに、平成19年開催の秋田わか杉国体に向けた県民総参加による美化の推進に関する意見交換を目的に行うものです。あなたも参加してクリーンアップなどの環境美化活動について意見交換しませんか！

日時 平成17年2月1日（火）13:00～15:15 会場 遊学舎（日赤病院隣）

お申し込み 1月24日（月）までに「秋田県環境あきたアクションチーム」へご連絡ください

（TEL018-860-1571、FAX018-860-1574、E-mail akaction@pref.akita.lg.jp）

入会について

あなたも参加しませんか

未来の子どもたちのために、秋田の環境をよりよくしていこうという活動の応援団です。当法人の活動やこのフォーラム通信発行のために会費を負担していただいています。

会費

区分	社員	一般会員
企業・企業関係団体	1口：1万円 年1口以上	1口：1万円 年1口以上
個人・民間団体	1口：3千円 年1口以上	1口：1千円 年1口以上

会費納入について

秋田銀行 県庁支店 普通 560425 北都銀行 山王支店 普通 6099633

郵便振替口座 02280-7-76146

いずれも特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム宛です。

なお、フォーラム通信送付の都合上、銀行振込の場合は事務局にご住所、お名前をご連絡ください。

NPO法人 環境あきた県民フォーラム 秋田県地球温暖化防止活動推進センター ACCCA

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎（秋田県ゆとり生活創造センター）内

TEL 018-839-8309 FAX 018-829-5803

Eメール mail@eco-akita.org ホームページ <http://www.eco-akita.org/>

ストップ! 温暖化

事務局から

東南アジア諸国の津波被害報道を見るにつけ、余りの惨状に目を覆いたくなります。温暖化防止センターとしては、直視していかなければ...と思いがら。地球上の生物すべてにとって、明日は我が身ということでしょう。でも、環境、環境と囁き言葉のようにメディアでは騒がれていても、実際は、もっとも対策が進んでいないように思えて歯がゆい気がします。もっと輪が広がる年になればいいなあ。

クイズの答え

クイズ1... 原料の「ポリエチレンテレフタレート（Poly Ethylene Terephthalate）」の頭文字です。ビデオテープや洋服にも使われています。
クイズ2... 最近では、半分以上がリサイクルされています。 出典：PETボトルリサイクル推進協議会